

3000万統一署名を大きく広げ、改憲ストップの運動を一気に強めよう

2017年9月15日

全日本民医連理事会

1. はじめに

安倍政権は国会での数の力を背景に、秘密保護法、戦争法、そして共謀罪と、戦争する国づくりにむけた悪法をあいついで強行成立させてきました。いずれも「政府の説明は不十分」「今国会で成立させる必要なし」との世論が過半数を超えていたにもかかわらず、国民の声に耳を傾けようとしない横暴ぶりです。

そして憲法施行70年の節目となった今年5月3日、安倍首相は「2020年を新しい憲法を施行する年にしたい」と、総理大臣自らが9条改憲を宣言するという憲法違反の暴挙に踏みだしました。改憲実施にむけてのスケジュールを加速させ、今秋の臨時国会での憲法審査会への与党案の提出、来年通常国会での国民投票発議、早ければ来年夏頃の国民投票実施というシナリオを描いています。

この安倍政権による改憲のうごきに危機感をもった19人の著名人が発起人となって、「安倍9条改憲NO! 全国市民アクション」が結成されました。そして、運動の中心課題として「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす全国統一署名」を、3000万筆集めきることが提起されました。この3000万統一署名を大きく広げ、改憲発議を許さず、改憲ストップの運動を一気に強めましょう。

2. 安倍9条改憲NO! 全国市民アクションが呼びかける「3000万統一署名」を民医連として300万筆を目標にとりくもう

改憲の発議を許さない政治状況をつくり出すために、来年5月3日開催予定の「憲法集会」までに「3000万統一署名」を集めきることがよびかけられました。戦争法廃止2000万署名を上回る、さらに大きな運動にする必要があります。私たち全日本民医連として、3000万の1割に相当する300万筆を目標にとりくみます。

- ・各県連への署名目標期待数をもとに、署名を広げるとりくみを具体化しましょう。
- ・すべての役職員が年内に、一人10筆を目標にとりくみましょう。
- ・共同組織とともに、すべての構成員世帯に署名用紙を届け、さらにまわりに広げてもらうことを相談しましょう。
- ・つながりのあるすべての医療・介護事業所、業者関係等に署名の協力依頼・申し入れ活動を行いましょう。
- ・第43回総会(2018年2月22日～24日)までに200万筆を集めきりましょう。
- ・「憲法9条改憲を考える〇〇〇市民シンポジウム」など、広範な人びとによびかけるとりくみを大胆にすすめましょう
- ・宣伝用資材として、のぼり、ポスター、横断幕、ステッカーなどを作成します。
- ・憲法共同センターが作成したリーフ全職員分相当を送りますので、活用しましょう。

以上